

(別記様式第3号)

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1203号	氏名	木下 裕久
論文審査担当者		主査教授	柴田 義貞
		副査教授	青柳 潔
		副査教授	大園 恵幸
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、初発の統合失調症患者における精神病未治療期間とその後の転帰との関連を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 国際疾病分類 ICD-9 に基づいた厳密な定義で採用された初発の統合失調症患者を対象として、訓練された精神科医師が精神病未治療期間の調査を行い、追跡開始から 1 年、2 年、5 年、10 年、15 年の各時点における転帰と精神病未治療期間との関連を適切な統計手法で解析しており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 調査開始から 10 年後の調査時点までは、転帰良好群のほうが転帰不良群よりも平均的に精神病未治療期間が短く、その差が有意あるいはやや有意であることを示し、精神病未治療期間が長期間の予後に関連することを明らかにしており、研究結果と考察は高く評価できる。</p>			
<p>以上のように本論文は初発の統合失調症患者における精神病未治療期間の短縮が長期にわたる良好な転帰をもたらすことを明らかにし、精神疾患の早期診断、早期介入の根拠を与えているもので、精神保健に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。